
メ～テレ 横井正彦社長定例記者会見

メ～テレ（名古屋テレビ放送）は3月25日に定例社長会見を開きました



メ～テレ代表取締役社長 横井正彦

会見の要旨は、以下の通りです。

平素から皆さま方には格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。2014年6月に社長に就任し、定例会見としては今回が2度目になります。どうぞよろしく願いいたします。

まずは、視聴率からご報告させていただきます。2015年度の視聴率は、正式には、4月3日を持って確定しますが、現状、きのう24日までで、「全日」「ゴールデン」「プライム」が2位、「プライム2」が1位で推移しています。このまま確定すれば、「全日」は4年連続の2位、「プライム2」は13年連続のトップとなります。

特に、メ～テレ制作の朝の情報番組として、この4月に30年目を迎える「ドデスカ！」は、1月の第2部の平均視聴率が過去最高の8.0%を記録しました。2月は8.3%と記録を更新し、まさに絶好調です。

続きまして、今期の決算の見込みについて、ご説明させていただきます。今期は、「減収減益」となる見込みです。まず、売上面ですが、スポット収入の伸び悩みなどにより「放送事業収入」が減収となる見込みです。一方、「その他事業」においては、当社が幹事社となって取り組んだ映画「あん」の観客動員が好調で、「その他事業」全体で増収となる見込みです。以上の詳細につきましては、今期の決算が確定した後、6月上旬に経済記者クラブでご説明させていただく予定です。

メ～テレでは、4月から新たに第4次中期経営計画をスタートします。第4次中期経営計画は、東京オリンピックが開催される2020年度を一つの節目と考え、5カ年の計画としました。

第4次中期経営計画のキーワードは「チャレンジ」です。予想されるテレビ全体の視聴率低下に耐えるタイムテーブルの構築、多様化するメディアへの対応、世界に通用するコンテンツの開発、事業領域の拡大、そうした様々なチャレンジが積み重なり、融合して初めて、メ～テレは成長していけると考えています。この5年間で、放送を支えてきた基盤は大きく揺らぐことでしょうか。そのとき、私たちが拠って立つのは、この東海地方しかありません。地域の価値を向上させ、地域の力を高め、地域の人々の心に寄り添って生きる。この地域の視聴者に「なくてはならないチャンネル」「もっとも頼りになるテレビ」と思ってもらえる局をめざします。

また、メ～テレは来年の2017年4月に開局55周年を迎えます。今年の10月から2018年3月までを55周年事業の期間と定め、番組やイベントなどの事業に積極的に取り組みます。

55周年事業のスローガンは、「もっと！地元応援団」です。50周年のときには、「地元応援団宣言！」を旗印に、「ドデスカ！」で、東海3県の全市町村から中継を行い、特番では、この地方の魅力を伝え、時には問題点を深く掘り下げました。地元にこだわり、地元とともに歩むというこの思いは、50周年の後も、番組やイベントなどで具体化してきました。55周年では、50周年で宣言した「地元応援」の精神を、さらに深掘りしていきます。「もっと！」にはそんな気持ちを込めています。55周年の番組やイベントなどについては、今、社内の各部署で検討しているところです。具体化の折には、随時ご報告させていただきます。

続きまして、次世代放送への取り組みです。メ～テレでは「次世代放送の先進局」を目指し、他局に先駆けて研究、実践に取り組んでおります。

昨年9月には東海地区で初となる、明るさの表現を豊かにするHDR（エイチディーアール）という技術に対応した4K編集室を新設し、いくつもの4Kコンテンツを制作しました。その一つが東山動植物園と行った「4Kどうぶつ図鑑」です。また10月には、4Kを超える超高精細な8K映像の撮影を実施いたしました。地上波での4K放送の先行きは不透明ですが、技術発展の成果を視聴者の皆さまに還元し、放送サービスの高度化を模索するとともに、より豊かな映像表現を追求することで、放送文化の発展に貢献し

ていきたいと考えております。

さて、メ～テレのこの春からの新しい取り組みについて何点か申し上げます。

まず、番組編成についてですが、メ～テレはこれまでも朝の時間帯を重要なゾーンと位置づけ強化してきました。テレビを取り巻く環境の変化として、タイムシフト視聴や若年層のテレビ離れなどがあります。しかし、登校や出勤前の朝は、リアルタイムで全ての世代の方々が、今後も日常的にテレビをご覧いただけるのではないかと考えています。つまり、タイムテーブル全体の中で、朝はより重要な時間帯になっていきます。私がこれまでも申し上げてきた、地域にこだわり、地域に積極的に関わる、それが実現できるのが朝であり、その時間帯を自社で編成していることがメ～テレの強みだと思いません。今回の改編では、メ～テレの朝を変えます。

好調な「ドデスカ！」を、月曜日から金曜日までの平日の編成とし、リニューアルいたします。目玉のひとつが、新しいダンスと歌で生まれ変わる「ウルフィダンス」です。詳細については別途、本日付けのプレスリリースでご確認ください。

そして、土曜日の朝は、平日の朝とは異なるニーズがあると考え、新たに人員や費用を投下し、“週末の朝”にこだわった新番組「デルサタ」をスタートいたします。「デルサタ」とは、「外に出る、サタデー」の意味です。「ドデスカ！」で培った土曜朝の制作のノウハウに、新たな視聴者ニーズを掘り起こし、お出かけ情報を中心に、“週末だからこそ見たい”、そう思っていただけのような付加価値を加えていきます。「デルサタ」を見れば週末が充実する、そんな番組をご提供したいと考えています。

日曜の朝には、メ～テレ制作の全国ネットアニメ「ガンダムユニコーン RE(リ):0096(ダブルオーナインティシックス)」がスタートします。初代ガンダムを手掛けたメ～テレが、久々にガンダムシリーズを放送するとあって、大変大きな話題となっています。

その他の主な新番組では、ローカルドラマの最新作「まかない荘」。また、ザキヤマさんとロバートさんの組合せで、深夜で、新たな企画にチャレンジします。

放送以外の分野では、5月に実施する音楽イベント「KAZOKU FES.」で、今回初めて2日間の開催に挑戦します。バラエティに富んだアーティストのラインナップとともに、昨年好評だったお笑いのスペシャルパフォーマーについても、詳しくは本日付けでプレスリリースを発行いたします。

今後とも引き続きメ～テレへのご支援をよろしくお願いいたします。

以上